

ファイアウォール管理センターとFirepowerサービスのプロセスのアクティブ化

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[ファイアウォール管理センターのプロセスを再起動する](#)

[Web UI を使用したプロセスの再起動](#)

[CLI を使用したプロセスの再起動](#)

[管理対象デバイスのプロセス再起動](#)

[FirePOWER アプライアンス、ASA FirePOWER モジュール、および NGIPS 仮想デバイスシリーズ 2 の管理対象デバイス](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Webユーザインターフェイス(UI)またはCLIを使用して、Cisco Firewall Management Center(FMC)アプライアンスでサービスを再起動する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

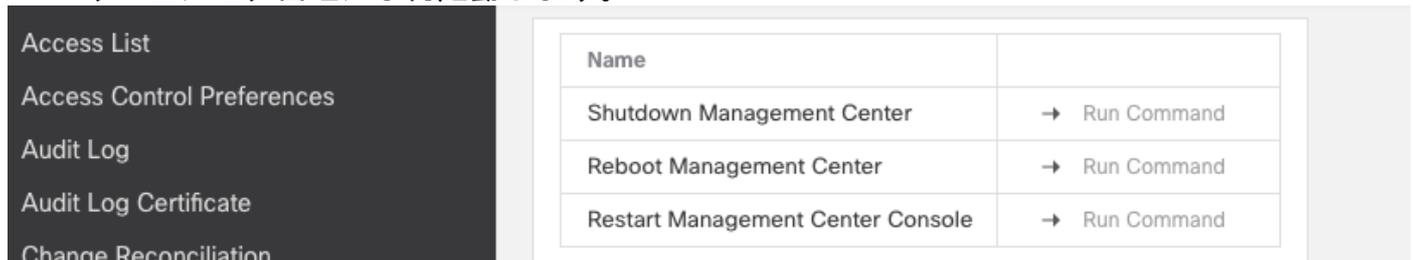
ファイアウォール管理センターのプロセスを再起動する

問題をトラブルシューティングするには、FireSIGHT Management Centerアプライアンスで実行されているプロセスとサービスを再起動します。以降のセクションで説明するように、これらのサービスとプロセスは、アプライアンスを再起動することなく再起動できます。

Web UI を使用したプロセスの再起動

Web UIを使用してFirewall Management Center(FMC)プロセスを再起動するには、次の手順を実行します。

1. ファイアウォール管理センターのWeb UIにログインします。
2. [System] > [Configuration] > [Process] に移動します。
3. [Restart Management Center Console] の[Run Command] をクリックします。これにより、サービスとプロセスが再起動します。



CLI を使用したプロセスの再起動

CLIを使用してファイアウォール管理センター(FMC)プロセスを再起動するには、次の手順を実行します。

1. Firewall Management CenterのCLIにログインします。
2. エキスパートモードに入ります。
> expert
admin@masolorifirepowermanager:~\$
3. 特権レベルを root ユーザ モードに引き上げます。

```
admin@masolorifirepowermanager:~$ sudo su -  
Password:  
root@masolorifirepowermanager:~#
```

1. CLI に次のコマンドを入力して、コンソールを再起動します。

```
root@masolorifirepowermanager:~# /etc/rc.d/init.d/console restart
```

管理対象デバイスのプロセス再起動

このセクションでは、管理対象デバイスで実行されているプロセスを再起動する方法について説明します。

FirePOWER アプライアンス、ASA FirePOWER モジュール、および NGIPS 仮想デバイス

FirePOWER アプライアンス、Cisco 適応型セキュリティ アプライアンス (ASA) モジュール、または次世代侵入防御システム (NGIPS) 仮想デバイスで実行されているプロセスを再起動する

には、次の手順に従います。

1. セキュア シェル (SSH) を使用して管理対象デバイスの CLI にログインします。
2. ASA で FirePOWER (SFR) サービス モジュールを実行している場合、SFR モジュールにアクセスするために、ASA で次のコマンドを入力する必要があります。

```
ciscoasa# session sfr console
Opening console session with module sfr.
Connected to module sfr. Escape character sequence is 'CTRL-^X'.
```

FirePOWER login:

3. ユーザ クレデンシャルを入力してシェルに正常にログインした後、次のコマンドを入力してサービスを再起動します。

```
> system restart
```

```
This command will restart the application. Continue?
Please enter 'YES' or 'NO': YES
```

シリーズ 2 の管理対象デバイス

シリーズ 2 の管理対象デバイスで実行されているプロセスを再起動するには、次の手順に従います。

1. Sourcefire 管理対象デバイスの CLI にログインします。
2. 特権レベルを root ユーザ モードに引き上げます。

```
admin@FirePOWER:~$ sudo su -
```

3. CLI に次のコマンドを入力し、管理対象デバイスで実行されているプロセスを再起動します。

```
root@FirePOWER:~# /etc/rc.d/init.d/sensor restart
```

関連情報

- [シスコテクニカルサポートおよびダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。